



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 32

受け継がれる伝統工芸 ～木曽漆器～

木曽漆器は、当社本社所在地の長野県にある旧木曽郡檜川村周辺に継承されている伝統工芸です。もともと木曽檜を使った木地作りが盛んで、江戸時代、中山道を旅する人の土産物として日本国中に広がりました。明治時代に奈良井で錆土（さびつち）という良質な下地素材が発見されたことによって、より丈夫で品質の高い漆器が作られるようになり、昭和50年に伝統的工芸品として経済産業省に認定されました。夏涼しく冬は厳しく寒いという気候は漆を塗る作業に適しており、豊かな自然による良材と卓越された技法により400余年という長い時間をかけ発展を続けてきました。

職人たちが時間をかけて作った漆器には気品とぬくもりが混在し、美しくなめらかな漆は料理を何倍もおいしく感じさせてくれます。特別な場面にはもちろん、普段の生活にも木曽漆器を取り入れてみてはいかがでしょうか。



UD FONT



Takano
タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.43



©Snowman Enterprises Ltd. 2017 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第64期 年次報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社の第64期業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国大統領の今後の政策や中東およびアジアを中心とした地政学リスクの高まりなどにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。
このような環境のもとで、当社グループは新たに策定を行った中期経営計画「Innovation 68」の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ

力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。
その結果、検査計測機器および産業機器の販売が増加したこと等により、当連結会計年度の売上高は21,897百万円で、前期比515百万円、2.4%の増収となりました。
また、利益面につきましては、検査計測装置販売価格の低下等の影響はあったものの、製造の合理化等を含め、原価低減活動を積極的に推進した結果、営業利益1,095百万円（前期比115百万円、11.8%の増益）、経常利益1,192百万円（前期比181百万円、17.9%の増益）、親会社株主に帰属する当期純利益845百万円（前期比196百万円、30.3%の増益）となりました。



代表取締役社長
鷹野 準

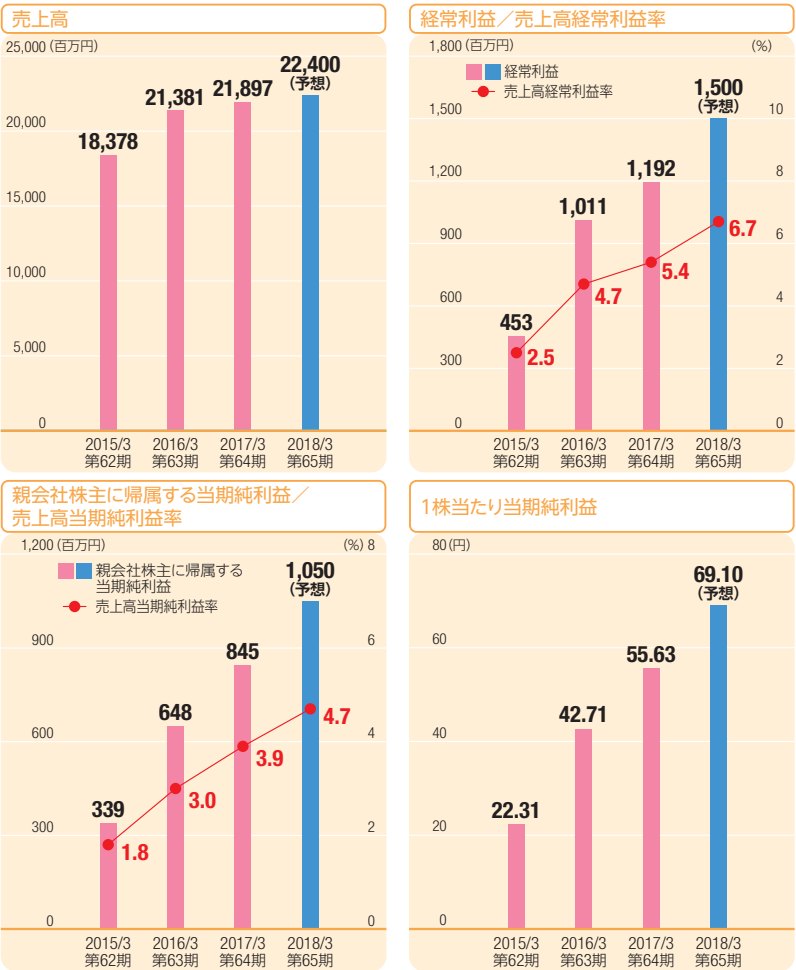


To Our Shareholders

次期業績の見通しについて

今後の見通しにつきましては、米国大統領の今後の政策や、アジアを中心とした地政学リスクの高まりなどから、先行きは依然として不透明な状況が続くものの、企業収益の改善に牽引され、引き続き景気は緩やかに回復していくものと思われます。

このようななか、中期経営計画「Innovation 68」の2年目にあたる次期において、当社グループは、計画の達成に向けて、積極的な経営資源の投入により、新分野・成長分野の開拓を推進し、事業構造・収益構造の変革に結び付けてまいります。
次期の連結業績につきましては、売上高22,400百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,050百万円を見込んでおります。
また、次期の年間配当金は1株につき14円を予定しております。



次期業績の見通し

	連 結	単 体
売 上 高	22,400百万円 (前期比2.3%増)	19,380百万円 (前期比1.5%増)
経常利益	1,500百万円	1,250百万円
当期純利益	1,050百万円	900百万円



インターネットによる新たなビジネスモデルを確立すべく開始した、タカノにおけるIoT推進への取り組みについてご紹介いたします。

「IoT」とは、「Internet of Things（モノのインターネット）」の略で、モノにセンサが組み込まれており、インターネットにつながり直接通信ができる仕組みのことです。

例えば、雨が降ることを教えてくれる傘立て、朝になると自動で開くカーテンなど、身近なものにもIoT技術が活用されています。

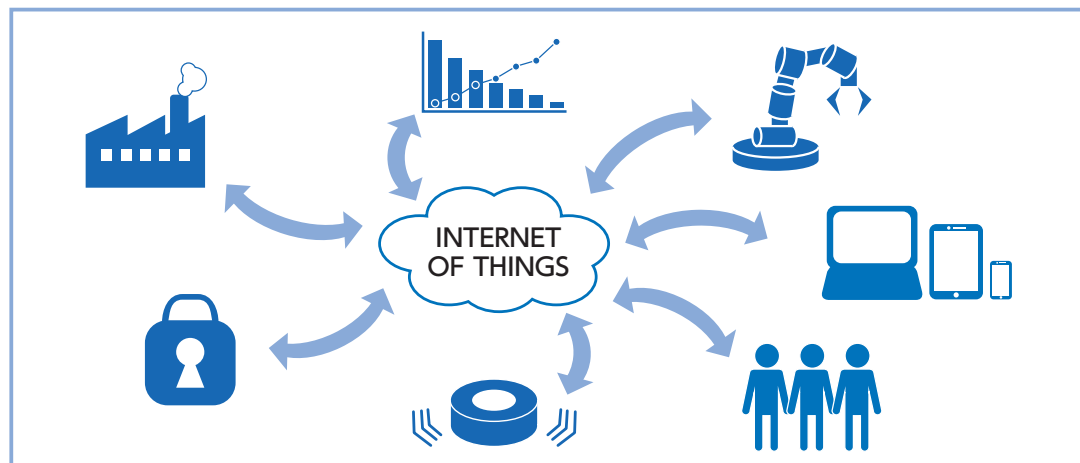
製造現場では、不良品発生の要因解析、設備のトラブルの未然防止、設備の自律的な対応などが可能となり、より付加価値の高い仕事に専念できるようになります。

当社におきましても、全社のIoT化を推進すべく、昨年9月より「IoTプロジェクト」を発足いたしました。

具体的な取り組みとして、工場内の設備の稼働状況を把握し、稼働率・生産数・エラー回数の解析による業務改善・効率化を実施しており、また、作業者の心拍数をデータ管理することで安全確認を行っています。さらに今後の課題として、装置の異常、部品交換時期などをリアルタイムに通知することで、さまざまな予防・予知が可能な環境に発展させるべく尽力しております。工程管理においては、進捗管理をリアルタイムに行い、対策の即時対応を可能にするとともに、蓄積したデータを分析し原価低減・業務改善の実現を目指しています。

今後ますますIoTを軸とした産業が展開されるなか、業務の効率化を図るだけでなく、お客さまのご要望との接点を見出し、積極的な実用化・商品化に努めてまいります。

次のページでは、当社既存商品へのIoT技術を活用した実例をご紹介します。



IoT技術を活用したパラソルの開発

タカノにおいて昨年9月に発足された「IoTプロジェクト」のもと、当社ではIoT技術を活用したパラソルを開発しました。従来の電動パラソルは、専用のリモコンで開閉操作を行うため、パラソルの近くで操作を行うものでした。タカノでは、さらなる利便性の向上を図るべく、インターネットによる遠隔操作が可能なパラソルを考案しました。パラソルにセンサを搭載し、スマートフォン等の端末で操作を行い、インターネットを介してパラソルを開閉させるという仕組みです。このシステムにより、遠隔地からでも操作が可能となりました。雨天時、屋外に設置されているパラソルに近付くことなく操作ができ、また、商業施設など設置数の多い場合も一括での操作が可能です。

このインターネットによる自動開閉操作システムは現在特許出願中であり、今後はさらに、パラソルに搭載した気象センサにより天候を感知し、自動で開閉するシステムを開発する予定です。

また、軽量化や原価低減等の改良を進めるとともに、その他の当社既存商品にもIoTを活用すべく研究開発を進めております。

今後ますます拡大されるIoT市場において、タカノのIoT技術をより向上させ、多様化するニーズに応えられるよう全社的な取り組みを推進してまいります。





画像計測部門

「第8回高機能フィルム展」出展

本年4月5～7日の3日間、東京ビッグサイトにて「第8回高機能フィルム展」が開催されました。この展示会は、ディスプレイ関連、電子機器、自動車などさまざまな分野で活躍する機能性フィルム、またその加工・検査技術までが出展する産業展です。当社からは、画像処理一体型カメラによる省スペース化を実現した「画像処理一体型検査装置」、業界最速システムを搭載した「無地フィルム向け高速高精細検査装置」などを出展しました。当日は多くのお客さまにご来場いただき、エネルギー関連業界やタッチパネル業界、また省スペース化を期待されるお客さまよりご相談を受けることができました。一方で、今後の開発の活力となる厳しくも励みとなるご意見もいただきました。今後もお客さまのニーズを的確に捉え、事業強化に努めてまいります。



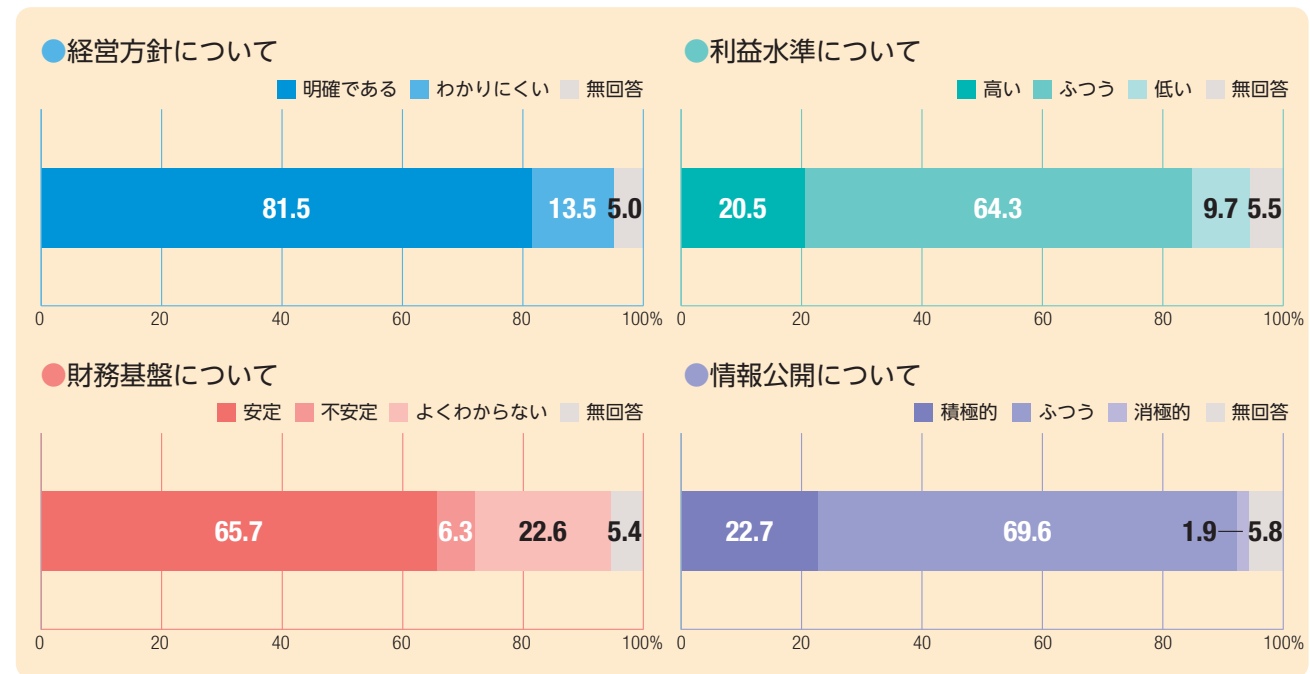
Close Up



株主アンケート結果のご報告

タカノ通信Vol.41においてお願いをいたしましたアンケートでは、多くのみなさまに、貴重なご回答、ご意見をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。お葉書一枚一枚の向こう側に、株主のみなさまの当社に対する

るあたたかな思いを感じ、厳しくも優しい励ましのお言葉からは、私ども一同、身の引き締まる思いでありました。以下に、みなさまからいただきました貴重なご回答の一部をご報告いたします。



株主アンケートのお願い

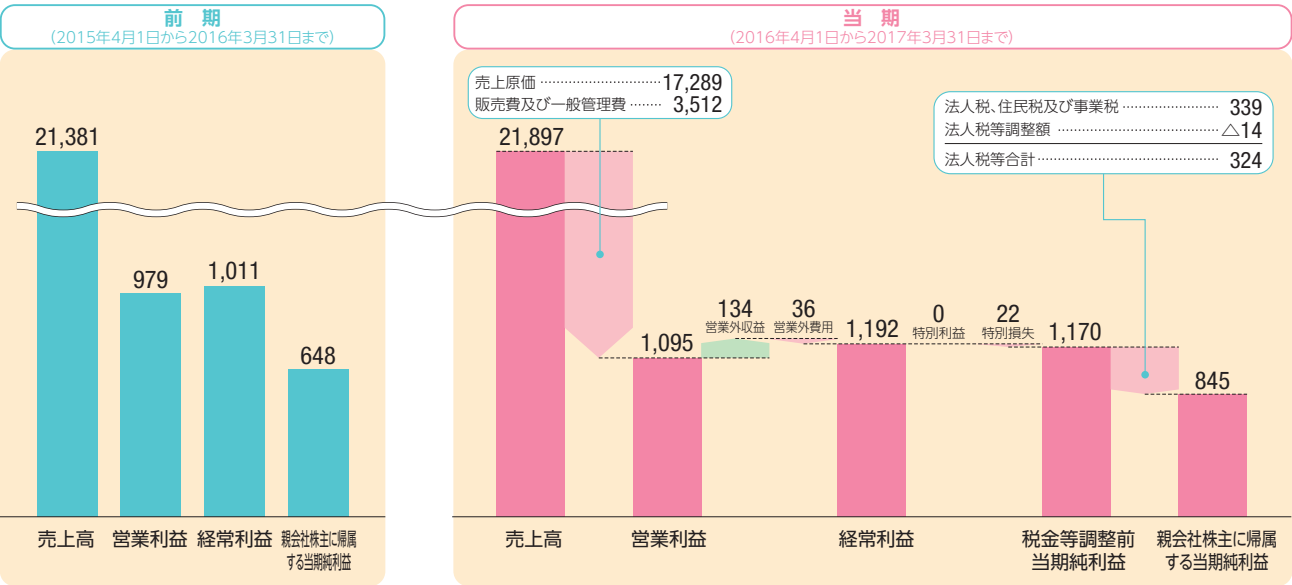
当社では、引き続き株主アンケートを実施させていただき、みなさまのご意見・ご要望等を今後のタカノ通信の編集に活かすとともに、より良いIR活動の実施に活かしてまいりたいと考えております。つきましては、同封いたしました「アンケートはがき」にお気づきの点などご記入のうえ、ご返送いただければ幸いです。みなさまのご協力、よろしくお願いいたします。



連結決算概要(要旨)

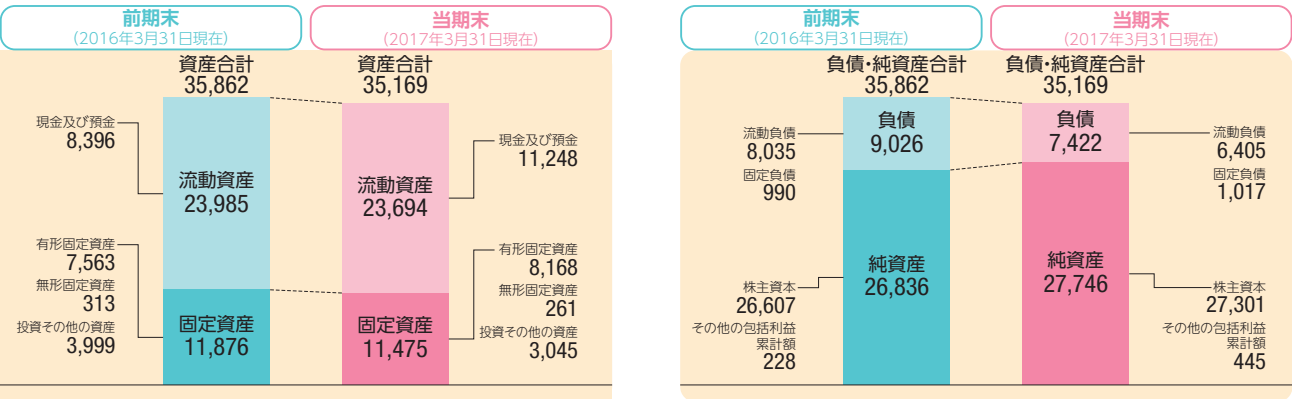
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

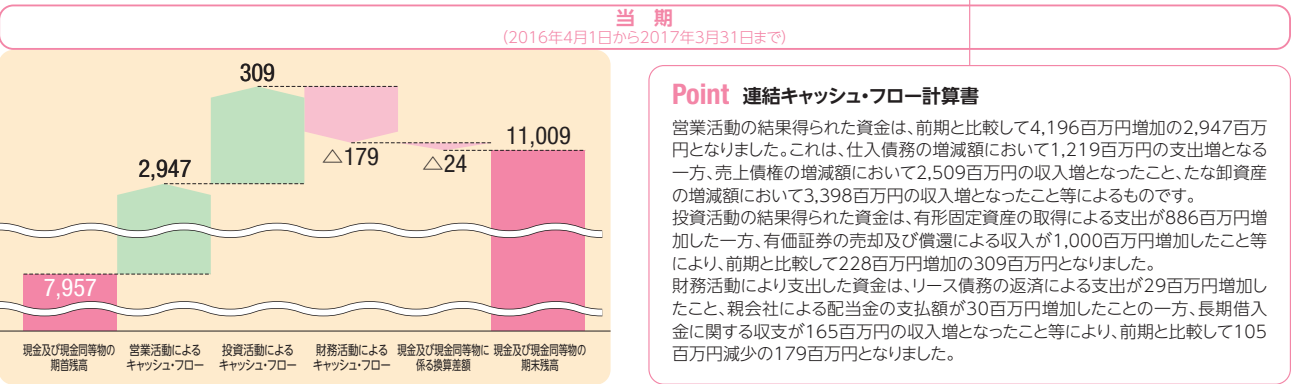
(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



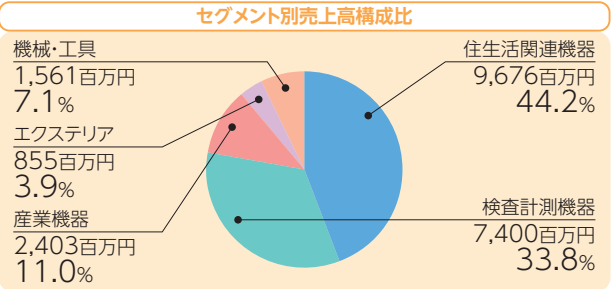
Point 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動の結果得られた資金は、前期と比較して4,196百万円増加の2,947百万円となりました。これは、仕入債務の増減額において1,219百万円の支出増となる一方、売上債権の増減額において2,509百万円の収入増となったこと、たな卸資産の増減額において3,398百万円の収入増となったこと等によるものです。投資活動の結果得られた資金は、有形固定資産の取得による支出が886百万円増加した一方、有価証券の売却及び償還による収入が1,000百万円増加したこと等により、前期と比較して228百万円増加の309百万円となりました。財務活動により支出した資金は、リース債務の返済による支出が29百万円増加したこと、親会社による配当金の支払額が30百万円増加したこと、長期借入金に関する収支が165百万円の収入増となったこと等により、前期と比較して105百万円減少の179百万円となりました。

セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	9,858	9,676	△ 1.8%	431	423	△ 1.7%
検査計測機器	7,101	7,400	4.2%	338	314	△ 7.2%
産業機器	2,100	2,403	14.4%	166	328	97.1%
エクステリア	897	855	△ 4.7%	△ 66	△ 46	－%
機械・工具	1,424	1,561	9.6%	128	64	△ 50.0%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△ 18	11	－%
合計	21,381	21,897	2.4%	979	1,095	11.8%





会社概要

Corporate Profile

会社概要 (2017年3月31日現在)

商 号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡
宮田村137
創 業 1941年7月1日
設 立 1953年7月18日
資 本 金 20億1,590万円
事 業 内 容 事務用椅子、その他椅子
等のオフィス家具、ば
ね、エクステリア製品、
エレクトロニクス関連
製品、医療・健康福祉機
器の製造ならびに販売
従 業 員 数 445名
上場取引所 東京証券取引所
市場第一部

グループ会社 (2017年3月31日現在)

- 株式会社ニッコー
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資 本 金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住 所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資 本 金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住 所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資 本 金 20百万新台幣元
- 上海鷹野商貿有限公司
住 所 中華人民共和国
上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資 本 金 50万米ドル
- 香港鷹野国際有限公司
住 所 中華人民共和国
香港特別行政区
事業内容 エレクトロニクス製品およ
び製品にかかる部品等の仕
入・販売(輸出入)
資 本 金 1百万香港ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の
子会社です。

役 員 (2017年6月29日現在)

代表取締役社長 鷹 野 準
専 務 取 締 役 鷹 野 力
常 務 取 締 役 小田切 章
常 務 取 締 役 大 原 明 夫
取 締 役 久留島 馨
取 締 役 臼 井 俊 行
取 締 役 玉 木 昭 男
取 締 役 下 島 久 志
取 締 役 植 田 康 弘
取 締 役 (非 常 勤) 黒 田 章 裕
取 締 役 (非 常 勤) 嘉 戸 廣 之
取 締 役 (監 査 等 委 員) 戸 枝 茂 夫
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 長谷川 洋 二
社 外 取 締 役 (監 査 等 委 員) 小 澤 輝 彦

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさま
へのタイムリーな情報提供および双方
向の情報交換を目的に、ホームページ
に会社情報を掲載しております。ぜひ
ご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2016年度の株主優待は、2016年9月30日現在の
株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の
株主のみなさまへは以下の6点の商品のなかから1
点お選びいただき、12月上旬に贈呈いたしました。
100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへ
は、当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラス
クセット」を同時期に贈呈いたしました。
2017年の優待品も、みなさまにお喜びいただけ
るよう厳選の品をお送りする予定です。ご期待く
ださい。

※2017年度の株主優待品は、2017年9月30日現在の株主の
みなさまを対象として、本年12月に贈呈させていただく予
定です。



株式の状況 (2017年3月31日現在)

Stock Information



●株式・株主の総数

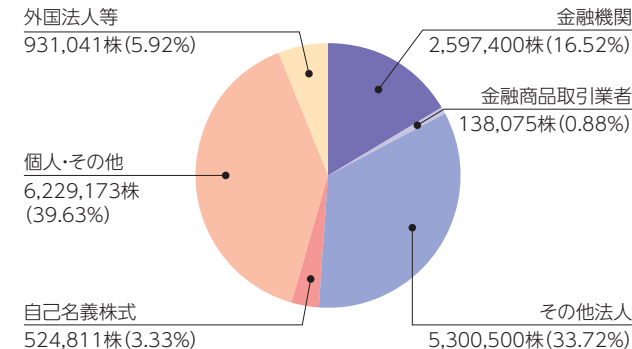
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 5,398名

●大株主

株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	13.68%
堀井 朝運	1,487,400株	9.46%
日本発条株式会社	1,151,500株	7.32%
みずほ信託銀行株式会社	1,000,000株	6.36%
株式会社鷹山	955,700株	6.07%
タカノ株式会社	524,811株	3.33%
鷹野 準	429,800株	2.73%
鷹野 力	407,100株	2.58%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	359,400株	2.28%
一般財団法人鷹野学術振興財団	330,000株	2.09%

(注) みずほ信託銀行株式会社の所有株式数は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

●所有者別株式の分布状況



●株価の推移

